

## 《平成 24 年度 事業経過報告》

今年度より、「年中児行動観察」「ペアレント・トレーニング」「社会資源調査」を新しく始めている。

### （１）年中児行動観察

「悉皆の乳幼児健診では育ちにくさに気付かれにくい子どもや関わりの難しい子どもに対して、適切な関与を共に考えていけるように、地域での支援機能の向上を目指す」ことを目的とし実施。

H22 年度に 3 ヶ所の保育園、幼稚園でモデル的に実施した。今年度は内容を見直して 5 区 6 園で実施。協力関係機関は養護教育センター、健康支援課、各区保健福祉センター、千葉市桜木園である。既に 3 園が終了している。

保護者が参加する個別診察・個別相談・ミニ講演会を行わず、集団での行動観察のみを実施。幼稚園教諭との意見交換に重点を置いている。保護者へは書面にて結果を報告。

### （２）ペアレント・トレーニング

親支援の一環として「発達障害のある子どもの行動を理解し、行動療法に基づく効果的な対処法を学び、よりよい親子関係づくりと子どもの適応行動の増加を目指す」ことを目的とし実施。

6 名の保護者が参加しており、計 10 回の講座の内 4 回が終了している。

### （３）社会資源調査

千葉市内の精神科、心療内科、小児科へ発達障害の診断・治療を行っているかを中心に調査を実施。また、相談機関等へも発達障害の支援内容についての調査を実施。現在、回答の整理中。